

【刊夕】日六月五

定價部金一錢 郵資五錢 廣告費 每行一錢 印刷費 每字一錢 發行所 東京市神田區大塚 電話 三六三〇

ロボット

得能文

天然自然のものは渾焉として其姿を保ち、其生命を保つて居る。試みに無機物について云へば、例へば、水は化学的成分から云へば酸素との一定の比で成り立つて居る。然るに、それは化学上の話であつて、天然自然の水はそれ以上の何物かを含んで居る。其何物であるかはよく分らないにしても、実際に飲用すれば天然の水と蒸溜水とは其味はひと異なり、又た性質も異なつて居る。然らば蒸溜水に何等かの薬品を加へて生水同様のものに成し得るか、といへば、それは到底出来ないのである。蒸溜せられた水はすでに水としての生命を失つて居るのである。次に、有機物について云へば、古來諸學者のすでに云へる通り、有機的のものはどうしても製造することは出来ないであつて、一莖の草と雖も之を作ることは出来ない、例へば、私達の常食である米は、一専門醫家の話によれば、玄米の儘ならば活きたものであ

るが精白すると死んでしまふ、而して精白米に胚芽などを加へても生きたものにはならぬさうである。すべて有機體は如何に低い程度に製造することの出来ないものである。カントは有機體を目的論的に見ればなんと云つたのは尤もなことである。ましてや高等生物に至つては、心意の現はれが見られるのであつて、是は機械では何ともすることが出来ないものである。ロボットが如何に巧妙に精巧に人間らしい動作をなすにしても、其「人間らしい」といふのはやはり「人間らしい」動作をなすといふまゝのことであつて、其動作は電氣の動力に俟たねばならぬのである。

人間は、常識的に云へば心(精神)と體(肉體)とを具へて居る。或は身心不二であつて、身の外に心があるでもなければ、心を別にして身が存在するのではないとも言はれ得るが、是は身心の二面があることを認めた上での一解釋であつて、兎に角、心と體との両面となつて現はれて居るのは争はれない事實である。而して精神は云ふ迄もなく、身體も之を人工的に製造することの出来ないことはロボットに見るも極めて明瞭なることである。蓋し製造せられ得るものは機械的のものである、機械的のものは機械的に見られ得る、去れども製造せられざる天然自然のものはどうしても機械論的に見ることは出来ないものであると思はれる。

常警六藝

みどり
たみ
まみどり
あまり濃すぎやしないかしら
五月の青葉の色は……
あるかなさかの風にツツ……
枝をわたり ぼたりと
したる様な
水々しい青葉の色
深い〜みどり
何か秘められて居るうだきつと私のあこがれ
遠い〜夢と消える青葉の色
私のおこがれ
五月の青葉は
あまり濃すぎる

貨切の●●●

御用命はゼヒ
電話三九五番へ
芹澤自動車商會
タクシ一部
貨物運輸部

配 達
平町三丁目
大勝園
本舗
味
速

外科

門 專 X
科 線
上田外科醫院
平町 南町
電話 一二九番

吉田眼科病院

平町屋町、電話六八番

郵便受函の設置に就いて

郵便受函をお取つけ下さい、朝早くから、夜に入つても配達する郵便物を確實に、迅速に、お受取下さる爲めに！

御商賣の關係や御勤めなどの都合で、配達がお早めには……起床前に……なる時は止むを得ず……或は……就寝後に……なる時は……御商賣の關係や御勤めなどの都合で、配達がお早めには……起床前に……なる時は止むを得ず……或は……就寝後に……なる時は……御商賣の關係や御勤めなどの都合で、配達がお早めには……起床前に……なる時は止むを得ず……

時代の要求

貴重なる郵便物の爲に
配達能率増進の爲に
山林式
標札兼用
呼鈴付
長サ一尺一寸 巾五寸五分 厚サ二寸五分

呼鈴付定價 金貳圓五拾錢
呼鈴無定價 金壹圓五拾錢
遞信局獎勵の主意に添様今回理想的の郵便受函を考案發賣致しました皆様の御利用と御後援を御願致します

本器の特長は

- 一、住所氏名は記入式に成つて居ますから貴重なる郵便物の誤配は絶対に有りません
- 二、完全な錠前を付けてありますから他人に見られる事も紛失の慮れなく不在の時も確實に配達されます
- 三、郵便物の配達されたことは自動的に信號致します
- 四、一家中の御名前が一目了全でありますから一般訪問者の爲めにも非常に御便利であります
- 五、納税書や新聞受函にもなり不在中訪問者の爲めに御利用が出来ます

平郵便局区内一手賣捌所
磐城平五丁目
和洋銅鐵
金物問屋
釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番 九九番
振替貯金口座東京二〇九番

石城郡の在米高

去る一日の現在

出来秋迄二万石不足

石城郡下の一日現在在米高は七萬四千三百四十一石で昨年同期の六萬六千三百八石から見れば八千三十三石の激増となつてゐるが郡下の總人口十九萬餘人に一人平均米が出来るまでの間五斗を消費すれば九萬五千石を要するが現在持米の七萬四千石から通算して約二萬一千石が不足を來すわけであるとはその筋の観測である

總會に列席し新宿御苑拜觀の光榮に浴した
木澤常松、吉田直之助
瀬尾善之進、長瀬富彌

七月から直營に

石城煙草元賣捌所
位置は現在の儘か

平町における石城煙草元賣捌所もいよいよ來月一杯で專賣所直營に移るので同所では帳簿その他の整理中であるが現在の職員は事務員四名、賣捌人七名、それに小名濱、植田兩出張所の七名を合して十七名である。政府ではなるべく職首せぬ方針だとあるからこれ等の従業員はそのまゝ引繼がれるものと見られてゐる、尙直營後の賣捌所については他に移轉説もあるが然し緊縮の折柄とて當分は現在の場所を營業を繼續するだらうと観測されてゐる

代用校指定

磐城訓盲院が

平町では町會の決議により磐城訓盲院の縣營移管を申請中の所四日同訓盲院を縣立代用校に指定された

國勢調査

記念品交附

平町役場で

平町役場ではかねて國勢調査委員に贈るべく注文中であつた南部鐵瓶がこの程出來上つたので來る十一日右記念品の交附式を舉行する

新宿御苑

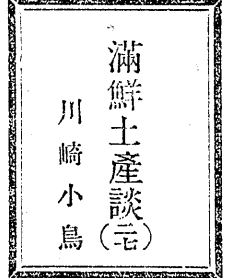
拜觀光榮者

平町から四名

帝國軍人後援會の左記特別會員は去る二日東京水交社に開催された第三二回通常

財務主任會議

石城郡各町村役場財務主任會議は十二、三の兩日平稅務署樓上に開催、本年度實施土地賃借價格調査並に土地調査その他諸般の協議打合せをなす



滿鮮土産談話 川崎小鳥

〇僕は勝負事となると、ヅブの門外漢だ、碁は打てず、將棋は差せず、歌留多は取れず、トランプは解らず、花札は駄目、全くお恥しいが、稽古の機會があつても、ついぞ遺る氣を起さず今日に至つて居る。何んにも出來ませんでは、社交上不便な場合も起きやうと家の者にも勧められて、初めたのが「麻雀」だ。

平町人事

出生

△久保町四 鈴木留春氏二男茂次
△田町一〇 當時東京府下淺草區新谷町六 野崎秀幸氏長男春秀

婚姻

△鎌田町四三 當時東京府下荏原郡世田谷町四二 入江長治(三三)埼玉縣下志木郡上吉田村一八〇一中島イ(二九)

死亡

△南町一五 當時湯本町宇ヶイ城四〇 仲井竹次郎(四一)

某かの金を握れば、又賭け事に、精根を打ち込む。

〇此の賭け好き、勝負好きの支那人に限つて、生み出された遊戯である丈に「麻雀」の興味は、實に多岐多様の複雑さを極め、アクロイコ感力がある、僕は、そのシッコイ興味に、驚いて、寧ろ僻易して仕舞つた故にこれは深く覚えたら大變だと悟り、上りさへ解れば、それでよいと點數の計算を、テンデ覺え様としな

〇満州は「麻雀」の本場である、これは悪口だらうが奉天の張學良等は收賄の方法に、これを用えて居るといはれて居る、つまり張學良に對する贈賄側が、一定の金を賭けて置いて、ワザと負けるんださうだ。

今日の話

「成金」といふ言葉が俄か金持の意味に使はれ出したのは明治三十九年頃日露戰爭直後の財界動搖時に鈴木久五郎といふ青年が一攫四百萬圓儲けた時からだ、明智光秀の三日天下をそのまゝに、痛快に儲けて痛快につぶれた鈴久は當時やつと三十になるやならずの若僧新柳二橋に買占め藝妓といふものをおいて自分の紋を染めぬいた揃ひの着物を着せ、節分の豆撒きだといつては三寶の上に金銀貨をのせてばらばらまき散らして藝妓半玉の拾ふにまかせたり、お茶屋の障子襖を手當り次第に叩き破つて十圓札で繕つてみたり、新橋の花月で藝妓を素裸體にして座敷にまき散らした紙幣を口で拾はせて、その曲線の變轉萬化を喜んだり、途方もない遊びをした藝妓を三十人つれて木曾の御嶽さんに出かけ、野良衣裳をつけさせて百姓仕事をさせたのも此男だが、米國へ注文した五萬圓の自動車は横濱に到着する前日、一文なしに没落してしまつた

移轉致しました

五月一日ヨリ
平町田町大通り(元福住旅館跡)
張擴舗店
ハシモトヤ糸店

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫 電話六三〇番 (申込次第規則書進呈) 貰つて重寶 贈つて便利な 三井の券品商 三井呉服店

平みやげ 玉子ケーキ 十ヶ入金十銭 本品の特長 一、本品は卵及び蜂蜜を多量含入製造したるものにして滋養豊富にて實に本品三ヶで卵一個の効力を有す 一、日数を經るも軟かにして變味の憂ひ絶對なく子供、老人、病人、辨當代用、進物用として最も適す 一、最新式機にて製造し大量製産なるが故に價格低廉なり 平町三丁目 たげや茶店 製造發賣元

セメント 壁用材料 コールタール ペンキ塗料 板ガラス 磐城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舗 平町二丁目「電三」

石城政友部會の 議會報告演說會

八日夜聚樂館にて

内田代議士其他の獅子吼

石城政友部會にては代議士木村清治氏の議會報告演說會を八日午後一時から四時同午後六時から平町聚樂館、九日午後一時植田、同午後六時小名濱にて夫々開催する事となつたが辯士は木村氏の外に本部から内田信哉、胎中楠右工門、猪野毛利榮の各代議士及び本縣の八田宗吉、助川啓四郎の兩代議士が出演、現内閣の誤れる施設方針を完膚なき迄に攻撃し若槻内閣の打倒を期する由

区内の 失業者救済

古鍛冶町にて

平町古鍛冶町には現在十三名の失業労働者が居住して居る處から區長木澤常松氏の膽煎りで天理教境内の地盛りや武藏鐵工場の地均しを請負しめ生活の資を給して居ると

東洋捕鯨

閉鎖か?

東洋捕鯨會社小名濱事業場は毎年五月中旬頃から捕鯨に着手するので四月下旬ごろから職員等は來濱するが今年は未だ何の音沙汰もないので地元では或は經濟界

調べた結果左 富岡營林署管内双葉郡大野村林道工事に使用するため廻送の途中工夫達が遺失したものと判明した

フィルムを 差押へて

有聲座が罷業

平町驛前活動常設館有聲座従業員二十餘名は賃銀未拂からマキノプロダクションに交渉中であつたが同會社では同館事務員に全部依頼してあるからと明答をさけてゐるので事務員に交渉したがこれ又會社と全然手が切れたからと更に増があかないのでいよいよ九日から總罷業を決行フィルム二十巻を差押へて持久戦に入つた賃銀問題から屢閉鎖を傳へられてゐた、け成り行を注目されてゐる

落し物は 工夫等が遺失

昨報石城郡上遠野村大字根岸旅人宿白田健方前縣道に捨て、あつたダイナマイトの落し主につき植田署で取

専賣局の技手が 湯本の藝妓誘拐

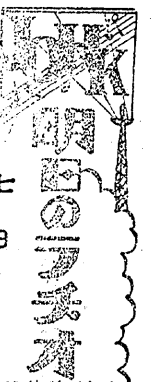
郡山市稻荷町三ノ輪館下宿

人須賀川専賣局技手黒澤丑之助(三)は三日湯本町に來り同町字三國一五一藝妓屋大平長治方抱藝妓琴富事新瀧縣西蒲原郡燕町東大田生れ森井シヨ(三)を呼び遊興した揚句言葉巧みに誘拐し約八百五十圓の前借金を踏倒させ四日午前一時湯本驛發の列車で愛知縣岡崎市方面に逃走したので抱主は青くなつて平署に届出た

他人の娘を 酌婦に賣る

無免許で

石城郡内郷村大字綴幕ノ内無職安戸雄喜(四)は去月中旬石城郡磐崎村字長倉三〇節賣業長谷川ヨシ(三)が夫の病氣で家計に困つて居るのを奇貨とし周旋業の免許が



天候氣像

今晩は南東の風 晴明日は南より 風後次第に曇る

今晚の部

後六、〇〇 お話「手品」になりそうなる理科實驗「抽木卯馬」
後六、三〇 英語講座「初等科」(一〇)岡倉由三郎(官廳ニュースを含む)河
北新報社ニュース 氣象
通報 告知事項 番組豫
告
後七、二五 趣味講座「モダン人魚」山下盛夫
後八、〇〇 邦樂演奏常磐津「大森彦七」常磐津松尾

明日の部

前六、三〇 ラヂオ体操
前九、〇〇 氣象通報
前九、一〇 料理献立「筑前煮」佐藤三徳發表 日

プール設置

古河炭礦にて

石城郡好間村古河炭礦會社では今回同村小館長屋東方に縦廿五米横十五米の水泳専用のプールを三千餘圓の工費を以つて開設すべく工事を起したが此の工事は同村在郷軍人會員が努力奉仕すると

優勝旗は平第一校に 断然三回連勝して

昨日磐中運動會リレー

縣立磐城中学校の春季運動會は五日午前八時から好天氣に恵れ豫想外の盛會を極めたが殊に

郡下の呼物たる各小

學校八百米リレー競技の優勝旗争奪戦は盛んな應援裡に參加十六校の豫戦行れ結局決勝戦には平第三校、湯本校、植田校、平第一校の

用品値段

前二、〇〇 副業講座「養兔に就て」(一)農林省副業課技師大山彦二
正午 時報
後六、〇〇 五ジャズ獨唱付
コロムビアジャズバンド
獨唱二村定一 指揮井田一郎
後七、〇〇 全國ニュース
河北新報社ニュース 氣象
通報 告知事項
後二、〇〇 家庭大學講座「日本演劇史第十三講」早稲田大學講師河竹繁俊
後二、四〇 運動競技「國民新聞主催五大學新人野球試合状況」東京戸塚球場より中斷
後三、四〇 氣象通報
後四、〇〇 全國ニュース
河北新報社ニュース

後五、四五 今晚の番組豫告
後六、〇〇 (子供の時間) 落し嘶「窓の深い金兵衛さん」蝶花結馬樂
後六、三〇 英語講座「中等科」(第二講の五)久野湖郎
後七、〇〇 全國ニュース
(官廳ニュースを含む)河北新報社ニュース 氣象
通報 告知事項 番組豫告
後七、二五 「野球記者座談會」東京運動記者俱樂部 司會者太田茂
後九、〇〇 新内「關取千兩職」鶴賀吉之助
後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

明五月七日 臨時休業仕 り候

平町二丁目 魚清食道

病を苦しめて

石城郡泉村竹尻、吉田友秋(三)は五日午前五時頃剃刀で咽喉をかき切り自殺を遂げた、原因は不治の病を苦しめて

観相見訴らる 自稱

横濱市中區吉田町一丁目九觀相家高島白龍事高崎祐郎

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五一三番

